

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 岡田美津子

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	印
視 察 議 員	岡田美津子・黒木靖治			
期 間	令和元年 5月27日（月 ）～令和元年 5月28日（火 ）			
視 察 先	福井県小浜市（御食国若狭おばま食文化館にて）			
視 察 用 務	小浜市の「食育」の取り組みについて			
視察先対応者	食のまちづくり課			
概要及び所見	<p>小浜市のトップである市長の考えで、食を通して、全ての恵みや人への感謝の気持ちを持てる教育のためにと「食育」を中心に置く小浜市の取り組みを学びに行かせていただきました。</p> <p>若狭おばまは、四季・海・山・里の地形、そして豊かな水によってもたらされる食材の宝庫です。古代には朝廷に塩や海の幸を献上する御食国のひとつとして、京の都に魚介類を運ぶ鯖街道の起点として広く知られてきたとの歴史を、まずは「御食国若狭おばま食文化館」にて見学をしながら説明を受けました。</p> <p>その様な環境と恵みの中、小浜市の「食のまちづくり条例」の中でも特に食育については重要な分野として位置づけられており「生涯食育」という概念を提唱されており、「身土不二」（その土地で生産されるものを食べる事が最も体に良い）との理念に基づく地産地消と、ライフステージに合わせた食育の事業を数多く実施されています。子供達の食育も大変重要と捉え「義務食育」体制として幼児期からの食育体験学習も積極的におこなっておられます。</p> <p>又、この様な食育事業は「食育ツーリズム」として地域外の方々も参加されています。本市にも参考になる事が多くあると感じたところです。</p>			

視察等報告(復命)書

三次市議会議長 様

報告者氏名 黒木靖治

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者
視察議員	黒木靖治・岡田美津子		
期 間	令和 1年 5月 27日(月)～ 令和 1年 5月 28日(火)		
視 察 先	・福井県小浜市 (小浜市役所)		
視 察 用 務	小浜市の「食育」の取組みについて		
視察先対応者	食のまちづくり課		
概要及び所見	・福井県小浜市 (人口 29,262人、世帯数11997、面積233.1km ²)		
	福井県の南西部、若狭地域のほぼ中央に位置していて、北は若狭湾に面し、海岸線の一部はリアス式海岸。南は京都北部一帯に連なる山岳で、一部は滋賀県に接している。		
	また、古くはシルクロードの日本の玄関口として、京都、滋賀、奈良への大陸文化・南蛮文化を伝達する経路となっていた。		
	今は京都から約2時間かかるが新幹線開業に向けた取組みが進められてる。開通すれば京都から15分の所要時間となる。 若狭塗箸は、全国80%のシェアである。		
	【視察内容】 小浜市の「食育」の取組みについて		
	小浜市では、多様な恵みがもたらす豊かな自然環境と古くからの歴史文化を活かして		
	全国に先駆けて、「食」をキーワードにしたまちづくりが行われてきていて、2001年9月には、		
	全国で初めて「食のまちづくり条例」が制定された。		
	小浜市は、2004年には「食育文化都市」を宣言して「食のまちづくり条例」の中でも特に		
	食育については重要な分野として位置付けられており、すべての世代が食育を受けられる		

概要及び所見

よう「生涯教育」の推進に力を入れている。食の政策専門員や市民の「食育サポーター」によって行われる園児対象の「キッズ・キッチン」などの各種料理教室は、食育の先進地として小浜の代名詞となっている。

その土地で生産されるものを食べるのが最も体に良いという「身土不二」の理念にもとづく地産地消とともに、食文化館、教育機関、公民館、健康管理センターなどにおいて、ライフステージに合わせた食育事業を数多く実施されている。特に子ども達へのアプローチは徹底していて、市内の就学前の園児、小学生、中学生全員が一定の食育学習ができるように「義務食育」体制をとっておられます。

「キッズ・キッチン」は「料理を教えることを目的とした子供料理教室ではなく「料理」を子ども

の様々な能力を引き出すことを目的とした、いわば人間教育の場」とのことである。参加した子供たちは、無事に自分で料理ができたことに達成感を感じ、自信を持つことができるという。保護者からは「子どもの好き嫌いがなくなった」、「家庭でも料理や後片付けの手伝いをするようになった」という効果も表れて、親も料理を通じた子どもの成長で「食」の大切さに気づく。「キッズ・キッチン」のねらいは、子どもだけでなく、子どもの変化を通じて、親が変わることもある。

食育事業は「食育ツーリズム」として地域外の方々にも参加していただいて交流人口を増やす計画もされています。

三次市においても学校給食調理場再編計画が検討されている中で、「食」は人間の命を維持して行く上で非常に重要であるという視点を忘れないことが大切であると考えます。

学校給食調理場再編計画が進められていく中で、食育は重要なことなので小浜市の「食のまちづくり」の推進を参考にして「食育」を進めていくべきであると考えます。